

# 振興ちば



第34号

令和7年  
9月



いすみ市 高秀牧場から望む天の川

## 目次

|                                    |       |
|------------------------------------|-------|
| 表紙のまち いすみ市                         | 1-2   |
| まちのイチオン                            |       |
| 市川市 松戸市                            | 3     |
| 佐倉市 東金市                            | 4     |
| 勝浦市 八千代市                           | 5     |
| 君津市 香取市                            | 6     |
| 栄町 神崎町                             | 7     |
| 長生村 白子町                            | 8     |
| 千葉県からの情報                           |       |
| 成田空港の拡張事業と暮らしや産業の拠点として選ばれるエアポートシティ | 9-10  |
| 千葉県からの情報                           |       |
| 新たな千葉県の魅力確立に向けた「発酵県ちば」の取組について      | 11-12 |
| 専門家が読み解く自治体の今                      |       |
| プロスポーツの経済・社会効果とまちづくり               | 13-18 |
| 市町村職員の紹介                           | 19    |
| 自治落書き                              | 20    |
| 市町村振興協会だより&編集後記                    | 21-22 |



### 大原漁港 『港の朝市』

日曜日  
8:00~12:30 開催

ライブやパフォーマンスなどのイベントもあり、会場を賑やかに盛り上げます。  
最新情報は「港の朝市」公式ホームページならびにSNSをご覧ください。



# 悠久の時を感じる絶景に出会う いすみ市

## 星降る街で 海と里山の恵みを堪能

親潮と黒潮が交わる全国有数の漁場、大原漁港が会場の「港の朝市」はリピーターも多い人気のイベントです。漁港で水揚げされた新鮮な海産物はもちろん、地元産の農産物や加工品などいすみ市産にこだわった商品がずらりと並びます。購入した食材をその場で焼いて食べられるBBQもあり、新鮮な海の幸と山の幸をすぐに味わえる贅沢で楽しい体験として大変好評です。夏は海水浴、また9月に行われる勇壮な「大原はだか祭り」でも多くの見物客が港に集います。

海の愉しみとともにいすみ市を有名にしているのがきれいな星空です。街明かりの少ない田園風景の静寂の中、ひとさわ輝きを放つ満天の星は圧巻です。津々ヶ浦にある「夫婦岩」や「太東埼灯台」などフォトジェニックなシンボルとともに星空を堪能できるスポットもあります。

この秋はぜひ涼やかな潮風と自然が織りなす壮大な景色を堪能してみませんか。

### 星空案内人と楽しむ 「いすみ市星空観望会」

初心者でも星空や宇宙の楽しみ方がわかる星空観望を通年で開催。詳しくは「いすみ星空学校」ホームページをご確認ください。



### 豊かに実る里の幸「いすみ米」



夷隅（いすみ）川流域の肥沃な耕地と豊富な水が育む「いすみ米」は、多古米・長狭米と共に県内三大米と称され、冷めても美味しいと評判です。



画像提供：いすみ市

★お出かけ前にホームページなどで最新の情報をご確認ください



### 朝市でも人気！多彩で豊富な地魚

〈千葉ブランド水産物認定品〉

- 外房イセエビ（旬）4月～5月、8月～12月
- 太東・大原産真ダコ（旬）12月～1月
- 器械根サザエ（旬）4月～5月、8月～9月
- いすみ産船上活メサワラ（旬）11月～4月

他にも、アジ・イカ・イナダ・イワシ・カレイ・ヒラメ・マダイ・サバ・フグなど豊富な魚介が水揚げされています。

いすみ市の沿岸には器械根（きかいね）と呼ばれる広大な岩礁群（プランクトンや魚介類が豊富に生息する漁場）があります。世界有数のこの恵まれた漁場が一流シェフも認める品質の高いイセエビやタコ、サザエやアワビなど豊富な魚介類を育んでいます。

## 市川市

誰もが住み続けたい  
持続可能なまちを目指して

市川市は、千葉県の北西部に位置する人口約50万人の市です。江戸川を隔てて東京都と隣接しており、都心部と県内各地域を結ぶ広域交通網が集中する利便性の高い住宅都市として発展してきました。

北部は、梨栽培などの農業が盛んで屋敷林などの緑も多く、また、数々の教育機関が集まっています。

一方、南部は、東京湾の最奥部に位置する三番瀬に面し、京葉工業地帯の二翼を担っているとともに、都会的な街並みが形成されています。

さらに、かつては下総国府が置かれ、神社仏閣などの歴史遺構も多く存在し、様々な文人墨客に愛された文化都市としての側面も持ち合わせています。

昨年、市制施行90周年という節目を迎えた本市は、次の100周年に向けた礎を築くため、各分野で様々な取り組みを行っています。

これまで、未来を担う子どもとその家庭への支援のために、市立学校の給食費の無償化や第2子以降の保育料の無償化などを実現する

とともに、子どもを中心とした多世代が交流できる施設を新たに開館するなど、子育て環境の整備にも取り組んできました。

また、地域経済及び市民活動の活性化を図るため、市内のみで使えるデジ

タル地域通貨「ICHI CO（イチコ）」を導入しており、利用者・加盟店とともに拡大を続けています。



ほかにも、本年5月には環境省より脱炭素先行地域（第6回）に選ばれ、再生可能エネルギーの活用などを通じて、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを加速させています。

今後、誰もが健やかに安心して、そして希望を持って暮らし、住み続けたいと思える持続可能なまちづくりを進めてまいります。

## 佐倉市

「持続可能なまち・佐倉」の実現に向けて

佐倉市は、千葉県北部、下総台地の中央部に位置し、都心から約40km、成田国際空港から約15kmの距離にあり、面積は103.69km<sup>2</sup>で、北部は印旛沼、東部・南部は農村地帯が広がる中、工業団地が立地し、西部は首都圏のベッドタウンとして、豊かな自然と都市の利便性をともに享受できるまちです。

受けるまちです。

人づくり・体制づくり ―若者など多様な主体と連携したまちづくり―

昨年、市制施行70周年を迎えた本市では、市内5つの県立学校と包括連携協定を締結し、若者の発想と行動力を活かした数多くの記念事業を展開いたしました。これらを通じて、若者がまちに愛着を持ち、良いまちにしたいと願い、考え、行動することが重要であることを再認識するとともに、若者が主体的に参画できる環境づくりが急務であると痛感した次第です。

また、気候変動など広範かつ深刻な課題が顕在化する一方、財政状況は厳しさを増しており、学術機関など多様な主体との連携が、地域課題

解決のカギと考えております。特に、気候変動対策では、化学的な根拠に基づく市民目線での取組を市から発信すべきと考え、国立環境研究所などとの連携、協力を得て、県内市町村では初めてとなる気候変動適応センターを昨年4月に設置いたしました。

気候変動対策の推進

地球規模で進行する気候変動は、私たちの生活、経済、自然環境に深刻な影響を及ぼしており、これらに対処するためには、影響に備える適応と、原因を減らす緩和の両方の取り組みが不可欠です。本市は、市民の安全な暮らしを守るため、昨年の4月に策定した気候変動対策行動計画に基づき、適応策として、情報発信ESD教育による意識醸成、田んぼダム設置支援やクーリングシエルトー設置等、緩和策として、里山や森林の保全整備や住宅用省エネルギー設備等導入支援等を推進しています。



## 松戸市

多世代がともにいきいきと  
思い思いに暮らすことができるまち  
やさシテイ、まつど。

松戸市は、千葉県北西部に位置し、人口約50万人を擁する首都圏の住宅都市です。

都心から約20kmにあり、上野東京ラインの利用でJR松戸駅から東京駅まで最速24分で直通します。市内には鉄道駅が6路線23駅設けられ通勤・通学や日常生活の利便性に優れています。

都心に近い街でありながらも、みどりも多く、歴史や文化が現在も大切に受け継がれるなど、都会的な部分と自然の豊かさが融合する特徴のある街です。



全国「みどりの愛護のつどいを開催」自然と暮らす豊かさを実感できるまちづくりと、市民によるみどりの活動を進めてきたことで、市内にはいままも水やみどりの資源が豊かに残っています。

こうした取り組みが評価され、本年6月7日には、第36回全国「みど

## 東金市

「未来へ続くMY CITY東金」の実現に向けて

新たな産業用地の整備でさらなる賑わいを

「上総の黄金町」と言われ、古くから九十九里地域の商業拠点として多くの人で賑わった東金市。

さらなる賑わいを創出するため、現在取り組んでいるのが「産業用地整備計画」です。

用地買収、造成工事、企業用地の分譲まで行う民間事業者の募集と選定、アクセス道路の予備設計などが順次進められており、市内における産業活動の発展と雇用の創出により、まちの持続的な発展、活性化が期待されています。

「まち」の玄関をリニューアル。  
やがて新しい「まち」へ

市民の玄関口である東金駅。令和8年4月には念願の東口改札が設置されます。

まちへの大きな魅力づけ、さらには、未来への道標となることが期待されるなか、これを契機とした施策が進められています。

具体的には、東金駅から近接する

りの愛護」のつどいが秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席のもと、21世紀の森と広場及び森のホール21で開催されました。

開催趣旨である「緑を守り育てる運動を積極的に推進する」という機運の醸成を図り、未来に貴重なみどりをつないでいきます。

東京ドーム11個分の  
自然尊重型都市公園

市中心部に位置する広大な自然公園「21世紀の森と広場」では、千駄堀池や野草園などの豊かな自然の中で季節の花や野鳥観察が楽しめます。「あそびのすみか」にはローラースライダーやネットクライムなど大型遊具も充実。バーベキュー場やカフェ、自然体験教室やクラフト教室など、子供から大人まで楽しめるスポットです。「松戸モリヒロフェスタ」や「松戸アートピクニック」などイベントも充実。ぜひ一度遊びにきてください。



市役所周辺地域を対象エリアとして、公共施設等の最適化を軸とした新しいまちづくりを推進しています。わくわくするような、新しい「とうがねのまち」の具現化はすぐそこです。

産官学の連携による  
「とうがね発クラフトビル」

市内にキャンパスを構える「城西国際大学」。観光学部では、学生が主体となって、「大学オリジナルクラフトビル」を企画しました。



その中で、「副原料に、市の特産品である『プラム』を活用したい」との相談をきっかけとして、「東金プラム組合」、「大学」、「市」の連携による新たなプロジェクトが始まっています。

「大学」学生の想い、生産農家の想い、市の想い、魅力」といった、市に関わる沢山の「愛」を詰め込んだビールの完成は、今秋ごろの予定です。

## 勝浦市

「一〇〇年以上猛暑日知らずの街」  
「新たな避暑地」として次代へ」

「猛暑日知らずの街、千葉県勝浦市からお送りします——」

もはや、夏の風物詩となった感すらある勝浦市からのお天気中継。

数年前、連日の猛暑がメディアを騒がす中、某報道番組に「二〇〇年以上猛暑日知らずの街」として取り上げられたのをきっかけに、一夜にして勝浦市は注目を浴びることになりました。

以来、いつときの涼を求める方々、あるいは安寧の地として移住を検討する方々からの問合せが本当に多くなりました。

「猛暑日知らずの街」の称号は、いわば勝浦市を取り巻く



自然環境がもたらしてくれた恩恵のひとつで、この好機を逃さず、観光振興や移住促進につなげようと、官民が連携しながら取り組んでいるところです。

## 観光地のブランディング

観光振興においては、400年以上の歴史を持ち「日本三大朝市」のひとつに数えられる「勝浦朝市」を、朝の涼しい時間帯に食べ歩きなどができる

「朝活スポット」としてもリブランディングするなどし、話題性が増しています。

また、一段と涼を感じられる海岸沿いに点在する「海中公園」や



「鵜原理想郷」などを、涼風吹く景勝地としてPRしています。

## 「注目の移住先」として

移住促進においては、様々なメディアで「今注目の移住先」として紹介される機会が多くなったことを受け、多彩な企画を織り交ぜながら、二日移住体験ツアー「移住の学校」を開催するなど、積極的なPRを展開しています。

そうした中、子育て世代の移住希望者のニーズに応えることを目的のひとつとして、子ども子育て施策を専門的に扱う「こども未来応援課」を新設しました。

## 新しい勝浦ブランドへ

勝浦市は今後も、伝統に寄り添いながら時代のニーズを把握し、アップデートを重ねていきます。

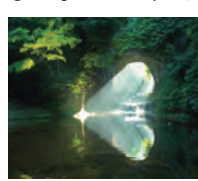
## 君津市

君津ならではの魅力を活かして  
愛着と誇りを育てるまちづくり

房総半島のほぼ中央に位置する

君津市は、東京湾アクアラインを使えば都心から車で1時間と、アクセスに恵まれたまちです。東京湾に面する北西部は、日本最大の鉄鋼メーカーが操業する一方、内陸部には朝日が差し込むと水面にハート形の光が浮かび上

がる「濃溝の滝・亀岩の洞窟」など、房総丘陵の豊かな自然が広がっています。



また、今年4月にはプロ野球・千葉ロッテマリーンズのファーム本拠地の移転先に決定するなど、新たなプロジェクトも始まっています。

## 君津が生んだ唯一無二の文化資産

市民の愛着や誇りの醸成、本市の知名度やイメージの向上に向けて君津ならではの魅力を広く発信していきます。その一つが、市出身の松本新吉氏が創業し、戦前に日本三大ピアノメーカーとして名を馳せた「松本ピアノ」です。効率より音色を重視し、職人の手作業にこだわったピアノづく

りは、「スウィートトーン」と呼ばれる柔らかく甘い音色が特徴で、

見栄えの山葉・音色の松本と評されました。ピアノづくりは親子三代にわたって続けられましたが、2007年に市内の工場が閉鎖解体。その後、三代目・新二氏と松本ピアノ・オルガン保存会を中心にピアノの補修・保存活動やコンサートでのピアノの活用が行われてきました。現在は、市役所応接室にピアノを設置し、市長のトッププロ



モーションを展開するほか、各種メディアやSNSを活用し、松本ピアノの魅力を積極的に発信するなど、露出機会の増加に取り組んでいます。

## 愛着と誇りを育てるプロモーション

松本ピアノをはじめ特徴的な景観や新たなまちづくりなど、君津ならではの魅力を幅広く発信し、君津に「こんな魅力があったんだ」「住んでいてよかった」「行ってみよう」と思ってもらえるようなシティプロモーションに取り組んでいきます。

## 八千代市

人がつながり未来につなぐ  
緑豊かな笑顔あふれるまち  
やちよ

八千代市は、千葉県の北西部に位置し、市域の北側には水田や里山などの豊かな自然や田園風景が広がり、南側は京成本線及び東葉高速線の鉄道沿線を中心に市街地が形成されています。都心から約30kmという利便性から首都圏のベッドタウンとして発展を続け、快適さと自然の豊かさを兼ね備えた都市として、今では人口20万人を超える都市に成長しました。

## 新たなにぎわいの創出

令和6年4月に、本市と千葉市、佐倉市、独立行政法人都市再生機構など、17の関係団体で「千葉うみさとライン」協議会を設立し、東京湾と印旛沼をつなぐ花見川と新川流域一帯の魅力を高めるプロジェクトを開始しています。「ちばの、ちかばの、あそびば」をコンセプトに民間と行政が連携して水辺のア



## 総合的な「ほどよし」のあるまち

令和7年3月に、市の魅力をわかりやすく伝えるキャッチコピーとロゴマークを市民の意見をもとに制作し「ほどよし。やちよし。」に決定しました。本市の環境の総合的な「ほどよし」をストレートに表現し、ほのぼのとした雰囲気のある文字が、都市機能や自然などの様々な魅力に囲まれている様子を表しています。

今後も、本市の魅力でもある「ほどよし」を活かした魅力的なまちづくりを進めてまいります。



## 香取市

地域の魅力を再発見  
スローシティの推進

香取市は、北部に利根川が東西に流れ、その流域には、水郷の風情漂う水田地帯が広がり、南部は山林と畑を中心とした平坦地で北総台地の一角を占めています。豊かな水と肥沃な土地、そして温暖な気候に恵まれていることから、農業が基幹産業となっており、特に米とサツマイモは関東でも有数の生産地となっています。また、マッシュルームの生産量が日本一であり、市内の飲食店でも工夫を凝らしたマッシュルーム料理が提供されています。



## 「スローシティ」の推進

香取市では、第2次香取市総合計画で定める将来都市像「豊かな暮らしを育む 歴史文化・自然の郷 香取」が輝き、人が集うまち」が、その実現に向けたまちづくりを進めています。香取市ならではの地域資源や個性を磨き独自性を発揮することで、市内外の認知度を高め、個性と魅力あるまちづくり

に取り組んでおり、その主な取組として、スローシティの理念を取り入れたまちづくりを推進しているところです。スローシティとは、イタリア共和国発祥の、地域の歴史文化・自然を大切にしながら等身大のまちづくりを目指す運動です。

具体的な活動として、令和6年11月に慶應義塾大学と連携協力協定を締結し、大学生が地域の伝統行事や活動に参加しながら地域の魅力を再発見する地域研究を行っています。この活動を通じて、市民の皆さまにも、我々の日常生活が貴重な地域資源であること、誇れる魅力あるものだという



あるものだということを再認識して頂くことで、シビックプライドの醸成にも繋がっているところです。

## 栄町

水と緑に恵まれ、  
歴史に彩られた  
田園観光都市さかえ



栄町は、千葉県の北部中央に位置し、都心まで45km圏、J・R成田線「安食駅」から都内「日暮里駅」まで約60分、空の表玄関である成田空港へは車で約20分(約10km)に位置しています。

町域は、東西に約12km、南北に5kmと東西に長い地形で、北に利根川、南に印旛沼、町の中央には長門川が流れるなど、豊かな自然と水辺環境を擁する町です。

昭和30年12月1日の安食町と布鎌村の合併により、人口1万人の町として誕生した栄町は、今年で町制施行70周年を迎えます。

町では、70周年を記念した式典を11月16日(日)に挙行するとともに、SAKAEリバーサイドフェスティバルなどの記念イベントを行いますので、ぜひお越し下さい。

名産品としては、「丹波黒」と呼ばれる黒大豆の高級品種の「どらまめ」があります。



豊かな自然の中で、丹精込めて育てられた「どらまめ」は、粒が大きく、栄養が豊富です。贅沢で上品なおい

しさを、ぜひ一度「賞味ください」。

歴史も魅力のひとつであり、龍伝説のある「龍角寺」、東日本最大の方墳である「岩屋古墳」、徳川家とゆかりのある「大鷲神社」など、長い歴史をもつ文化財が多くあります。

本年3月4日には、「栄町こどもまんなか」を宣言し、5歳児健診や産後ケアの実施、大学生などへの定期代補助など子育て施策に力を入れております。



また、健康への取り組みとして「身体栄養食」などを学ぶヨガビト講座を実施しています。ヨガを用いて筋力強化やバランス能力の向上を図り、講座終了後も継続できるよう既存のヨガサークルの紹介や新規サークル立ち上げの支援を行ってきました。この取り組みが評価され、令和6年11月に厚生労働省から「健康寿命を伸ばそう！アワード」において表彰されました。

今後子どもをはじめ、町民すべてが希望を持てるまちづくりを進めて参ります。

## 長生村

くながく、いきいき暮らせる  
千葉県唯一の村 長生



長生村は、房総半島中央部、九十九里浜の南端に位置し、年間を通して温暖な気候と豊かな自然に恵まれた千葉県唯一の村です。

この地域の特徴的な気候や平坦な地形を活かし、地元で育まれる「長生トマト」や「長生ねぎ」、「ながいきそば」などの「長生(ながいき)ブランド」の特産物は、品質の高さで全国的に評価されています。また、「アイガモ農法」によるコシヒカリなどの水稲栽培も盛んで、地域の農産物は常に新鮮でおいしいと評判です。

車や電車での交通アクセスも良好で、近隣都市や首都圏からも近く、自然と利便性がほどよく調和した「そこそこ田舎、そこそこ都会」の「トカイナカ」として、幅広い世代に支持されています。

村のキャッチフレーズである「夢がある、生きがいを感じる、住んで良かった長生村」のもと、子育て支援や高齢者福祉、地域コミュニティの活性化にも積極的に取り組んでおり、昨年は長生村誕生70周年を迎え、地域と共に歩んできた歴史を振り

返るとともに、次の世代へつなぐ新たなまちづくりを進めています。

現在は、学校給食センターの建設やJ・R八積駅を中心とした「住んで良かった」まちづくりが進められており、村全体が活気にあふれています。



学校給食センター完成予想図

観光面では、「松海岸が海水浴や釣りのスポットとして知られ、夏季には観光地曳網やサーフィンを楽しむ人々で賑わいます。文化会館にあるプラネタリウムも、長生郡市内唯一の施設として、家族連れや子どもたちにも人気のスポットです。毎年11月には、村の一大イベント「ながいきフェスタ」が尼ヶ台総合公園で開催され、地元特産品の販売やステージイベントで多くの訪問者を魅了しています。

温暖な気候と豊かな自然、地域の活気あふれる文化やイベントが魅力の長生村は、さらに魅力的で住みやすい村を目指して、これからも新たなまちづくりに取り組んでまいります。



観光地曳網

## 神崎町

すべては町のため、町民のために  
人も発酵するまち・神崎



神崎町は、千葉県北端中央部、東京から東に約60km、成田から約20km圏の位置にあり、穀倉地帯であること、また利根川水運の中継地点であったことなどから、お酒や醤油などの醸造業が盛んに行われてきました。近年は、子育て支援を充実させるとともに、「発酵」に軸足を置いたまちづくりに取り組んでいます。

## 子育てのまち神崎

神崎町は子育て支援として、早くから「中学生までの給食費無料」、「保育料無料」、「高校生までの医療費無料」を実施してきました。4月からは医療費補助を大学生まで拡充し、より「層」子育て支援に取り組んでいます。

また、町の未就園児のお子さんと保護者の方、妊娠中の方が保育士と緒に遊び、保健・栄養相談ができる「どんぐりの森」を平日毎日開催。保育園では今まで0〜2歳児までだった主食(米飯)の提供を全年齢で実施する子育て支援の拡充を行いました。今後も、積極的な支援を続け、安心して子育てができる環境づくりに努めていきます。

できる環境づくりに努めていきます。

## 発酵の里「うづぎ」の推進

神崎町では「発酵」をキーワードとしたまちづくりを推進しており、2015年に全国で初めて「発酵」をテーマとした道の駅「発酵の里「うづぎ」」がオープンいたしました。地元産をはじめ全国各地の発酵食品を豊富に取りそろえており、2024年には76万人が訪れました。

また、発酵文化の発信にも力を入れ、2009年からは、町内の酒蔵を中心とした「酒蔵まつり」を開催。2025年には来場者数は7万人を超え、発酵をテーマとした地域イベントとして定着しております。

さらに、2024年には「発酵×オーガニックブレッド宣言」を行い、有機栽培の取り組みを「層強化し、発酵文化との融合を図っております」。

そのほか、神崎発酵マラソンやなんじゃもんじゃいきいき発酵フェスティバルなど、さまざまな催し物がありますので、ぜひお越しください。



大行列の試飲(鍋店)

## 白子町

海と空が広がる町で、  
健康で穏やかな暮らしを



千葉県東部、九十九里浜の中央部に位置する白子町は、温暖な気候と開放的な海岸線に恵まれた海辺の町です。東京都心から電車や車で2時間程度という立地ながら、海と空の広がる自然に囲まれ、心穏やかな暮らしを実現できる環境が整っています。移住や二拠点生活を希望される方にとっても、静かで心安らぐ生活が送れる地域として注目されています。

町の特産である「白子たまねぎ」は、潮風と温暖な気候が育てた甘みとみずみずしさが特長のブランド野菜です。生で食べられるそのおいしさから町外にもたくさんファンを抱えています。収穫期には「白子たまねぎ祭り」が開催され、多くの人でにぎわいます。



また、白子町はテニスと温泉の町としても知られており、約300面の

のテニスコートを備え、年間を通じて合宿地として利用されています。テニスシーズンには、全国から多くのチームが町を訪れます。プレー後は、ヨウ素を含む白子温泉で汗を流すことができ、旅とスポーツの両面で町の魅力を満喫できます。

近年、白子町では地域資源を活かしたまちづくりを進めるとともに、移住・定住支援にも力を入れています。空き家バンクや住宅リフォーム補助金の整備に加え、若者向けのマイホーム取得奨励金や新婚世帯への住宅支援、医療費助成など子育て世代への支援も充実。「うみとそらのあいだに暮らす」をテーマに、官民連携で暮らしやすい町づくりを進めています。海辺での穏やかな暮らしに興味のある方は、ぜひ一度、白子町の魅力にあふれてみてください。



やさしい町づくりを進めています。海辺での穏やかな暮らしに興味のある方は、ぜひ一度、白子町の魅力にあふれてみてください。

**成田空港の拡張事業と  
暮らしや産業の拠点として選ばれるエアポートシティ**

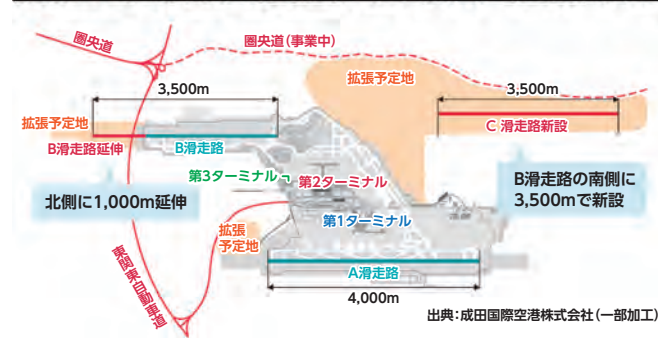
# 成田空港の拡張事業

成田空港は、国際線基幹空港として海外の100以上の都市と結ばれており、日本の空の表玄関としての役割を果たしています。

今後、増加が予測される首都圏の航空需要に対応し、成田空港がその役割を果たしていくためには、周辺地域との共生・共栄を図りつつ、成田空港の一層の機能強化を図ることが必要です。

このため、平成30年3月、国土交通省（航空局）・千葉県・空港周辺9市町・成田国際空港株式会社（以下「空港会社」）の四者は、環境対策等の実施を前に、滑走路

## 令和11年3月に向けて進行中の成田空港の拡張事業



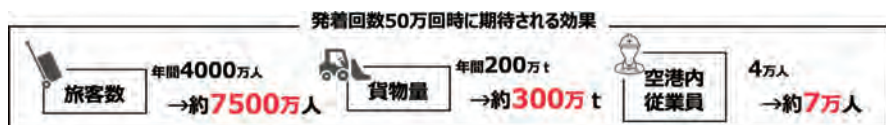
## 空港を核とした産業拠点の形成

の増設・延伸等を含む拡張事業の実施に合意しました。現在、令和11年3月の供用を目指し、滑走路整備等の取組が進められています。

この新滑走路等の供用が開始されると、年間発着枠が現在の30万回から50万回まで拡大し、旅客数・貨物取扱量・空港内従業員数が大幅に増加することが期待されます。

こうした日本最大の貿易港である成田空港の拡張事業の効果を生かして、我が国の産業競争力の強化と本県経済の活性化を図っていくためには、空港周辺に立地することにビジネス上のメリットがある産業を呼び込んでいくことが重要です。

このため、県では、空港周辺9市町とともに、地域未来投資促進法に基づく「成田新産業特別促進区域基本計画」を策定し、民間投



# 選ばれるエアポートシティの実現

また、産業拠点形成のための取組だけでなく、その受け皿づくりのための取組も重要です。

国・県・空港周辺9市町・空港会社は、空港周辺の地域づくりに関する「実施プラン」において、「地域と空港を支える人材の確保」と「空港を生かした産業の発展」を起点とする地域づくりを基本的な考え方に、「空港を核として、都市と田園が調和し、暮らしや産業の拠点として選ばれるエアポートシティ」を地域の将来像として掲げています。



株式会社社長(当時)  
センター長  
所入り口にて)

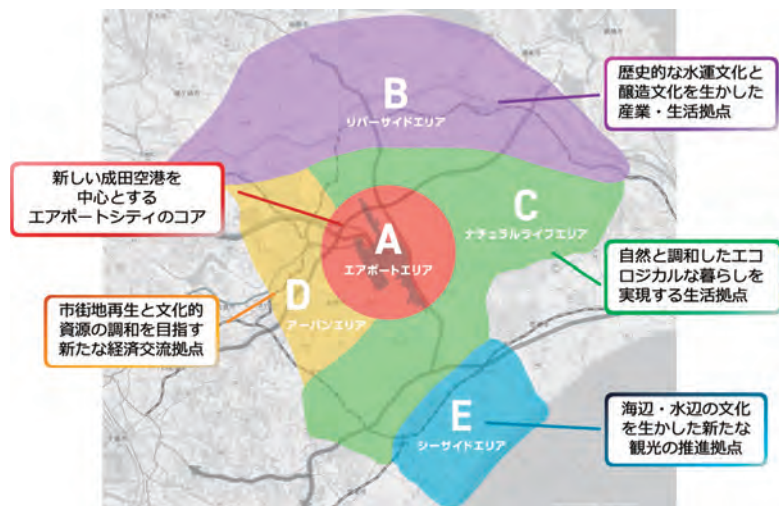
今年4月、地域づくりを担う県と空港づくりを担う空港会社は、「実施プラン」で掲げたエアポートシ



写真左:田村 明比古 成田国際空港株式会社社長(当時)  
中央:石田 東生 NRTエリアデザインセンター長  
(NRTエリアデザインセンター事務所入り口にて)

ティ実現のため、「NRT（なりた）エリア  
デザインセンター」を設立するとともに、今  
年6月には、同センターにおいて、「成田空  
港「エアポートシティ」構想」を策定しまし  
た。

同構想は、空港周辺において目指すべき産業・暮らし・交通等を一体で検討するための



エアポートシティ構想において整理されたゾーニング

議論の出発点となるものであり、この中において、成田空港を中心とする都市圏において、将来にわたって目指すべき姿として、誰もが輝き世界と響き合う「フラッグシップ・エアポートシティ」<sup>①</sup>というビジョンを掲げています。

今後、この構想を呼び水に、民間企業や周辺市町をはじめとする様々なステークホルダーとの議論を活性化させ、国際的な産業拠点と、それを支える多様な人々が集い互に高め合うコミュニティの形成を目指してまいります。

そして、空港の拡張事業により高まるポテンシャルを受け止め、広域に波及させるとともに地域が発展していくためには、道路ネットワークの充実・強化が重要です。

## 進む道路ネットワークの整備

そして、空港の拡張事業により高まるポテンシャルを受け止め、広域に波及させるとともに地域が発展していくためには、道路ネットワークの充実・強化が重要です。

（大栄、横芝間）の着実な整備や、首都圏と空港を直達する北千葉道路の整備、湾岸地域の渋滞を解消する新湾岸道路の計画の具体化を促進します。



## 整備が進む広域道路ネットワーク

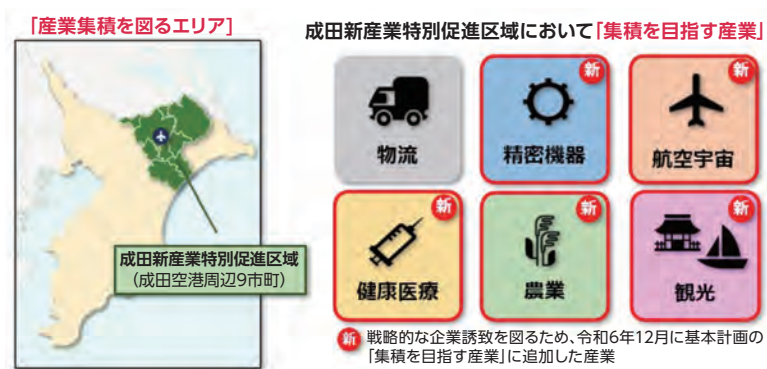
おわりに

成田空港の拡張事業の効果を、空港のみならず周辺地域に波及させ、暮らしや産業の拠点として選ばれるエアポートシティを実現するため、県では、周辺市町や空港会社のみならず、民間企業や地域住民をはじめとする方々と連携して、これらの取組を推進してまいります。

資を促進していくこととしています。

既に、地域未来投資促進法を弾力的に活用することで、2件の大型国際航空物流施設の開発表明につなげたところであり、昨年は、「物流」に加え、成田空港の特徴や強みを生かせる5つの産業を新たに「集積を目指す産業」に追加しました。

現在、特に空港との親和性が高い「航空宇宙関連産業」について、空港内の整備地区を核とした航空機エンジンのメンテナンスなど、航空機整備産業の集積を旨指して、具体的な取組を進めているところだ。



# 新たな千葉県の魅力確立に向けた「発酵県ちば」の取組について

県内各地に発酵の文化や歴史、技術が存在する千葉県。

県では、現在、ちばの発酵の魅力を国内外に発信していく取組を実施しています。

## 「発酵県ちば」のブランド化

千葉県は、醤油やみりんの生産量が全国1位です。他にも、日本酒やチーズ、さらにはバイオテクノロジー分野での活用など、県内各地に発酵の文化や歴史、技術が存在しています。こうしたことから、県では「発酵県ちば」を千葉県のブランドとして発信できるよう、市町村や企業等の関係者の皆様と連携しながら取り組む考えです。



## ちばの発酵

千葉の発酵文化は、好漁場を求めて房総までやってきた紀州等の漁師がやがて定住し、醤油づくりを伝えたとされています。

(1) 醤油  
江戸時代、濃口醤油が江戸で好まれたことや、江戸川、利根川の水運を活かせる地理的優位性を持つていたことから、銚子や野田をはじめとした房総の各地で



千葉の醤油は大きく発展しました。現在では、千葉で育まれた醤油の醸造技術が、キッチンマン(株)などをはじめとした企業により、世界各地に展開されています。

## (2) みりん

千葉におけるみりん生産は、江戸時代後期にさかのぼります。江戸時代後期、流山で綺麗に澄んだ濃厚な白みりんの醸造に成功しました。料理にもあう白く透き通ったみりんは、濃口醤油とあわせて、江戸の食文化を豊かにしました。

## (3) 日本酒

千葉県内で日本酒造りが盛んになったのは、やはり江戸時代です。物流の発展につれて、江戸時代の末期には県内各地で酒造りが行われるようになり、現在では37の蔵元が酒造りを行っています。

## (4) 酪農

江戸幕府の八代将軍・徳川吉宗により、乳製品の醍醐(牛乳から精製する乳製品)を普及するため、南房総一帯の「嶺岡牧」で白牛三頭の飼育が始まりました。このことから、この地は「日本の酪農発祥の地」として知られています。現在も、千葉県の酪農は盛んで、新鮮な牛乳を使ったチーズやヨーグルトなどの乳製品が味わえます。

## (5) バイオテクノロジー

発酵とは、微生物の働きによって、人間にとって望ましい変化をいいます。多くの方がイメージする発酵は食品ですが、県では発酵がバイオテクノロジーの面も有していることにも注目しています。例えば、木更津のような研究開発拠点では、発酵に関するバイオテクノロジーの研究も盛んに行われています。

## 大阪・関西万博への出展

このように、千葉県は各地に発酵の文化や歴史、技術を有していることから、その魅力を世界に発信するため、大阪・関西万博に出展することとしました。

千葉県ブースは4つのゾーンに分けて、様々な形で発酵の魅力を体感できるコンテンツを提供しました。

## (1) 展示・紹介ゾーン

大型パネルや実物・サンプルなどで「発酵県ちば」の文化・歴史・産業を紹介。



千葉県ブース「発酵県ちば～見る、味わう、体感する～」  
【出展期間】令和7年8月27日(水)～31日(日)  
【出展場所】大阪・夢洲 万博会場内EXPOメッセ「WASSE」



## (2) 発酵味わいゾーン

千葉県生まれの発酵食品や飲料、県産食材を使ったオリジナル発酵メニューの試食・試飲。

## (3) 発酵体験ゾーン

発酵の魅力や楽しさを体感できるワークショップ等を実施。

## (4) 個別展示ゾーン

流山市、香取市、神崎町、キッチンマン(株)、ヤマサ醤油(株)が出展し、各団体の特色を活かしたブースを出展。

5日間の来場者数は約7万8千人であり、多くの

## 今後の取組

大阪・関西万博では、公募により前述の2企業・3市町との出展を決めました。県としては、県内市町村と連携して様々な事業を展開していきたい考えです。各地域には様々な発酵の魅力があふれていますので、ぜひ、県をあげて千葉県の新たなブランドの一つとして「発酵県ちば」を国内外に向けて紹介していきましょう。

また、県では、ちばの発酵ポータルサイトを今年度に開設しました。ちばの発酵の魅力に関する情報をさらに充実していくため、積極的な情報収集を行っているところです。

県と二緒に発酵で取り組みたい事業や、発酵ポータルサイトに掲載したい情報などございましたら、千葉県 政策企画課までお気軽にご連絡ください。



千葉県総合企画部  
政策企画課

# プロスポーツの 経済・社会効果とまちづくり

株式会社ちばぎん総合研究所

調査部 研究員 又井愛<sup>またい あい</sup>

## 1. はじめに

近年、健康や喜びをもたらし、人を結びつけるというスポーツの力に注目し、スポーツで社会課題を解決しようという動きが広がっています。

本稿では、スポーツへの3つの関わり方——「する」「観る」「支える」——のうち「観る」、特にその代表であるプロスポーツチームが地域の経済や社会などにどのような効果をもたらしているか、そしてまちづくりにどのように貢献しているかを、先行研究や自治体へのインタビュー調査、県民を対象としたアンケート調査で明らかにしていきます。そして、これらの結果を踏まえて、自治体と県内プロスポーツチーム、住民との関わり方として望ましい姿について言及します。

## 2. スポーツとまちづくりとの関係

### 2-1. スポーツとは何か

スポーツとは、「競技・余暇活動・体力増強のために行う身体活動の全般」（日本スポーツ協会）と捉えるのが一般的です。

スポーツへの関わり方は、「する」「観る」「支える」の3つがあります。「する」は自分自身でスポーツを実践することを、「観る」はスポーツを観戦、応援したりすることを、「支える」は「する」スポーツを下支えする（例えば、コーチや審判、大会のボランティアをする）ことを、それぞれ意味しています。これら3つには、相乗効果があるといわれており、例えば、テレビでプロスポーツの試合を観戦した人が、そのスポーツに興味を持ち挑戦してみる——「観る」と「する」の実施率が相乗的に上昇す

る——ということが起こり得ます。

### 2-2. プロスポーツとは

日本には、プロスポーツと企業スポーツの2つがあります。プロスポーツとは、選手やチームを運営する法人が主にスポーツ興行から収益を得る事業であり、そこで活躍する選手は個人事業主としてチームと契約し、プレーします。国内では、日本プロフェッショナル野球機構（NPB、プロ野球）、日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）などが該当します。

企業スポーツは、スポーツ興行を主としな

い企業が運営するスポーツであり、当該企業（スポンサー）の宣伝や社会貢献活動を目的として、選手の多くは、社員として給与を得たり、福利厚生を受けたりして活動しています。日本では、世界トップレベルにある柔道や陸上競技などが該当します。

両者は、目的や選手の形態などが異なっていますが、国内トップレベルの「観る」スポーツという点が共通しています。そのため、トップレベルのスポーツがもたらす効果を議論する本稿では、プロスポーツとトップレベルの企業スポーツを一括して「プロスポーツ」として扱います。

### 2-3. プロスポーツとまちづくりとの関わり

日本のスポーツ振興は、スポーツを通じて社会課題を解決し、スポーツ産業と他の産業との相乗的な発展を目指す方向で進められています。スポーツ庁は「スポーツ基本計画第3期」にて、「スポーツによる地域創生、まちづくり」を重点施策としています。

プロスポーツチームとまちづくりとの関わりには2つの特徴があります。第一の特徴は、日本のプロスポーツの多くが地域密着型の活動を展開しているため、まちづくりと直接的な関係を持つことです。例えば、Jリーグは、規約で「チーム名および呼称には地域（ホームタウン）名が含まれているものとする」と定めており、チームと本拠地との密接な関わりを持つことを義務付けています。

第二の特徴は、プロスポーツの存在が自治体などによるまちづくりへの取り組みを補強し得ることです。スポーツは、「bond機能」と「amp機能」を持つといわれています。前者は、スポーツが接着剤のように年齢や性別を問わず様々な人々をくっつける機能を意味します。後者は、アンブ（音を増幅する装置）のように、

スポーツに対する人々の関心を利用して、情報を発信・拡散する機能のことです。プロスポーツは、競技性の高さや華やかさ、集客を高めるための工夫などにより、この2つの機能を強力に発揮します。このため、自治体や市民団体などまちづくりの主体は、自身の強みである課題認識力や地域独自の取り組みにこの二つの機能を掛け合わせることで、取り組みの効果を最大化することが可能です。

## 3. プロスポーツの経済的・社会的効果

プロスポーツ

は、その存在や活躍を通じて地域にプラスの効果と及ぼし、その地域のまちづくりに貢献すると言われている。先行研究によると、プロスポーツが経済や地域に及ぼす効果は、大きく経済的効果、社会的効果に分けることができます（図表1）。

以下では、県

図表1 スポーツの経済的・社会的効果の整理

| 経済的効果 | ① | 直接効果                   |
|-------|---|------------------------|
|       | ② | 間接効果                   |
| 社会的効果 | ① | 生きがい・喜びの醸成             |
|       | ② | シビックプライド(地域への愛着・誇り)の形成 |
|       | ③ | ソーシャルキャピタル(社会関係資本)の形成  |
|       | ④ | 人々の心身の健康・幸福            |
|       | ⑤ | 地域外からの認知・イメージの向上       |
|       | ⑥ | 子どもの健全な成長・発達           |
|       | ⑦ | まちの災害対策機能の向上           |

(出所) スポーツ庁(2011)<sup>1</sup>、筒井隆志(2012)<sup>2</sup>、和田崇(2021)<sup>3</sup>等から(株)ちばぎん総合研究所が作成。

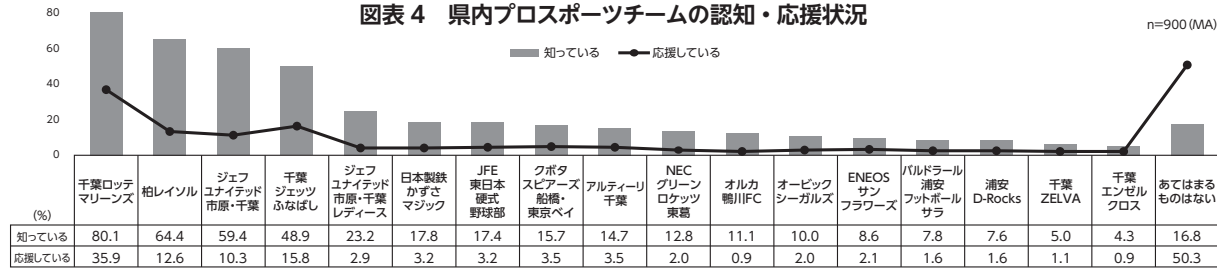
## 4. 県内自治体へのインタビュー調査の結果

プロスポーツが地域に与える影響と活用ポイントを把握する目的で、インタビュー調査を実施しました。プロスポーツチームの本拠地となっている千葉市、船橋市、柏市の3市を対象とし、2024年9月中旬に実施しました。

### 4-1. まちづくりに向けたプロスポーツチームとの連携と効果

地域のプロスポーツチームとの連携事例を聞いたところ、様々な取り組みがみられました。取り組みの一部について、図表2にて紹介します（図表2）。

このような取り組みを通じて自治体は、地域のプロスポーツチームとの連携が、地域に



うち認知度が最も高いのは、千葉ロッテマリーンズであり、8割の県民がその存在を認知しています（図表4）。次いで、サッカーの柏レイソル（64.4%）とジェフユナイテッド市原・千葉（59.4%）、バスケットボールの千葉ジェッツふなばし（48.9%）が続きます。また、これら4チームと他のチームの間では、認知度に大きな違いがあることも特徴のひとつです。

次に応援しているプロスポーツチームをみると、千葉ロッテマリーンズ（35.9%）が最も多くなっています。次いで千葉ジェッツふなばし（15.8%）、柏レイソル（12.6%）とジェ

## 5-1. 県内プロスポーツチームを巡る認知（1）県内プロスポーツチームの認知・応援度合い

県内に本拠地を置くプロスポーツチームの

経済的・社会的効果をもたらし、地域の活性化やより良いまちづくりにつながると評価していました。

具体的には、子どもたちがスポーツの楽しさを実感したほか、「する」「観る」スポーツの実施率が高まった（千葉市）との意見がありました。また、地域のプロスポーツの応援

図表 2 各市のプロスポーツチームとの連携事例（一部）

| ヒアリング先<br>(主な部署名)                           | 取組名                                | 連携先                                                                                    | 取組概要                                                                                                                                     |
|---------------------------------------------|------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 千葉市<br>市民局<br>生活文化スポーツ部<br>スポーツ振興課          | 県内トップ<br>スポーツチーム<br>による「学校訪問」      | 県内15チーム ※2024年度時点<br>・アルティール千葉（バスケットボール）<br>・ジェフユナイテッド市原・千葉（サッカー）<br>・バルドラール浦安（フットサル）等 | 県内のプロスポーツチーム（本拠地が千葉市外のチームを含む）に所属する選手等が、市内の小中学校を訪問し、子どもたちにスポーツの楽しさを伝える取り組み。近年は訪問する学校数が増加し、2018年度は34校だったところ、2024年度は約100校に達した。              |
| 船橋市<br>企画財政部<br>政策企画課<br>プロ・企業スポーツ<br>連携推進係 | 「船橋市民招待デー」<br>におけるホームゲーム<br>無料招待 等 | ・千葉ジェッツふなばし（バスケットボール）                                                                  | 船橋市在住・在勤・在学者対象に、ホームゲームへの無料招待日を設けている。その他に、2025年度に市内で開催されたBリーグオールスター戦（※）では、アリーナ周辺でパブリックビューイングを実施する等、地域をあげて大規模なイベントを実施し、地域とチームの結びつきを強化している。 |
| 柏市<br>企画部<br>共生・交流推進<br>センター                | ホームスタジアム<br>の市民開放                  | ・柏レイソル（サッカー）                                                                           | ホームスタジアム（三協フロンテア柏スタジアム）での試合や練習がなく、芝の整備予定が入っていない日において、スタジアムを地域活動の場として活用することがある。2023年度は、市内の保育園児の遊び場として開放した。                                |

※正式名称は「りそなグループ B.LEAGUE ALL-STAR GAME WEEKEND 2025 IN FUNABASHI」。

を通じて、市民のシビックプライドが高まった（船橋市）、地域の商店や住民全体でチームを応援する雰囲気醸成され、地域の一体感やソーシャルキャピタルが形成された（柏市）という声もありました。さらには、チームの活躍を通じて、域外から試合観戦に訪れる人が増加し、関連する産業に間接的な経済効果（ビジネスチャンスの創出など）をもたらしている（船橋市、柏市）との評価も聞かれました。

## 4-2. 自治体の役割と連携における留意点

これらの連携事業においては、いずれの自治体も、プロスポーツチームの提案や取り組みをサポート・調整する役割を担っていました。

連携事業が効率的に効果を発揮するためには、①「する」「観る」「支える」スポーツの相乗効果の発揮を促すことや、②プロスポーツチームを地域資源として捉えて、多面的な活用を試みることで、③自治体とプロスポーツチームの継続的連携が重要だといえます。さらには、連携に地域住民や商工会議所、商店街などを巻き込むことも有効とみられます。

## 5. 県民アンケート調査の結果

千葉県のプロスポーツチームを巡る認識や、地域にもたらす効果、まちづくりへの貢献度合いなどを把握する目的で、県民を対象とし

フユナイテッド市原・千葉（10.3%）が続きます。

## （2）居住地別にみた応援チーム

回答者の居住地別に応援しているプロスポーツチームをみると、三つの特徴がみられ

図表 5 応援している県内プロスポーツチーム（居住自治体別）

|                  | 合計  | 千葉<br>ロッテ<br>マリーンズ | 千葉<br>ジェッツ<br>ふなばし | 柏<br>レイソル | ジェフ<br>ユナイテッド<br>市原・千葉 | アルティール<br>千葉 | クボタ<br>スピアーズ<br>船橋・東京ベイ | JFE<br>東日本<br>硬式<br>野球部 | ジェフ<br>ユナイテッド<br>市原・千葉<br>レディース | ENEOS<br>サン<br>フラワーズ | 千葉<br>ZELVA | 千葉<br>エンゼル<br>クロス | あてはまる<br>ものはない |
|------------------|-----|--------------------|--------------------|-----------|------------------------|--------------|-------------------------|-------------------------|---------------------------------|----------------------|-------------|-------------------|----------------|
| 全体               | 749 | 35.9               | 15.8               | 12.6      | 10.3                   | 3.5          | 3.5                     | 3.2                     | 2.9                             | 2.1                  | 1.1         | 0.9               | 50.3           |
| 千葉市              | 204 | ★46.1              | 18.1               | 6.4       | ★17.2                  | ★6.9         | 3.4                     | ★3.9                    | ★3.4                            | 2.5                  | ★2.5        | 2.0               | 41.7           |
| 船橋市              | 122 | 45.9               | ★29.5              | 9.0       | 13.9                   | 3.3          | ★7.4                    | 1.6                     | 5.7                             | 0.8                  | -           | -                 | 43.4           |
| 習志野市             | 38  | 50.0               | 23.7               | 7.9       | 7.9                    | 5.3          | 2.6                     | -                       | 2.6                             | 5.3                  | -           | -                 | 31.6           |
| 柏市               | 85  | 34.1               | 11.8               | ★44.7     | 4.7                    | 1.2          | 2.4                     | 3.5                     | 1.2                             | ★4.7                 | 1.2         | ★1.2              | 32.9           |
| 市原市              | 21  | 42.9               | 19.0               | 9.5       | ★28.6                  | -            | 4.8                     | 9.5                     | ★4.8                            | -                    | -           | -                 | 52.4           |
| 我孫子市             | 18  | 16.7               | -                  | 27.8      | 5.6                    | -            | -                       | -                       | 5.6                             | 5.6                  | -           | -                 | 55.6           |
| 浦安市              | 38  | 36.8               | 21.1               | 7.9       | 13.2                   | 7.9          | 5.3                     | 10.5                    | 7.9                             | 5.3                  | 5.3         | 5.3               | 50.0           |
| その他              | 223 | 20.2               | 6.3                | 8.5       | 2.7                    | 0.9          | 1.8                     | 2.2                     | 0.4                             | 0.4                  | -           | -                 | 71.3           |
| ホームタウンと<br>全体の差分 |     | 10.2               | 13.7               | 32.1      | 6.9/<br>18.3           | 3.4          | 3.9                     | 0.7                     | 0.5/<br>1.9                     | 2.6                  | 1.4         | 0.3               | -              |

※全体より5pt以上大きい項目は、 、「★」はホームタウンを示します。

（1）スポーツの年間消費額

県民の「観る」スポーツの年間消費額（試合の入場券、スポーツ動画配信サービス料など）をみると、お金をかけていない（0円の）人が約半数であり、平均は1万1286円となっています（図表6）。

対象群別にみると、当然のことながら、プロスポーツチームの拠点があり、直近1年間

5-2. プロスポーツチームの金銭的に測った価値

県内のプロスポーツチームの経済的効果を図るため、県民に、自身のスポーツ活動に関する消費額を尋ねたほか、プロスポーツチームの存在価値を簡便的に測った結果をみていきます。

まず（図表5）。第一の特徴は、プロスポーツチームのホームタウンでは、地元チームを応援する割合が高いことです。第二の特徴は、応援度合いの高い上位4チームについては、ホームタウンだけではなく、隣接市でも応援する割合が高いことです。プロスポーツチームの存在やそれへの関心が隣接市に（千葉ロッテマリーンズは、湾岸地域に）滲み出していることを示唆しています。第三の特徴は、Jリーグの2チームについては、ホームタウン（柏レイソルは隣接する我孫子市を含む）とそれ以外の市との間で、応援する割合に乖離が生じていることです。これは、Jリーグの地域密着性を反映しているといえます。

たアンケート調査を実施しました。

**実施時期** 2024年8月23日（金）～26日（月）

**手法** アンケートモニターに対するWEBアンケート調査

**対象** 千葉県在住の18～69歳男女

**有効回答数** 900サンプル（県内プロスポーツへの関与度合いに応じて、回答者を3つに分類）

図表 3 アンケート回答者の分類

|     | 【対象群1】<br>プロスポーツ拠点あり・高関与               | 【対象群2】<br>プロスポーツ拠点あり・低関与   | 【対象群3】<br>プロスポーツ拠点なし     |
|-----|----------------------------------------|----------------------------|--------------------------|
| 回収数 | 300s                                   | 300s                       | 300s                     |
| 条件1 | プロスポーツの拠点がある7自治体居住者<br>(※対象エリアは下図をご参照) |                            | プロスポーツの拠点がない<br>47自治体居住者 |
| 条件2 | 直近1年間で現地での<br>プロスポーツ観戦経験あり             | 直近1年間で現地での<br>プロスポーツ観戦経験なし |                          |

<対象群1～2の対象エリア>合計7自治体

| 自治体  | 参考：拠点としているプロスポーツチーム等                    |
|------|-----------------------------------------|
| 千葉市  | 千葉ロッテマリーンズ、JFE東日本硬式野球部、アルティール千葉、千葉ZELVA |
| 船橋市  | 千葉ジェッツふなばし、クボタスピアーズ船橋・東京ベイ              |
| 習志野市 | オービックシーガルズ                              |
| 柏市   | 柏レイソル、ENEOSサンフラワーズ、千葉エンゼルクロス            |
| 市原市  | ジェフユナイテッド市原・千葉                          |
| 我孫子市 | NECグリーンロケッツ東葛                           |
| 浦安市  | 浦安D-Rocks、バルドラール浦安フットボールサラ              |

※対象群1・2は、「プロスポーツ」に限定すると対象自治体が限定されてしまうため、企業スポーツも含めた「トップスポーツ」に範囲を広げましたが、本稿では「プロスポーツ」と記載しています。

図表 8 プロスポーツチームの社会的効果に関する結果

| 社会的効果の種類 |                            | アンケート項目<br>※( )の記載がない項目は、「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計値を記載しています        | 全体<br>(n=900) | 【対象群1】<br>プロスポーツ<br>拠点あり・高関与<br>(n=300) | 【対象群2】<br>プロスポーツ<br>拠点あり・低関与<br>(n=300) | 【対象群3】<br>プロスポーツ<br>拠点なし<br>(n=300) |
|----------|----------------------------|---------------------------------------------------------------|---------------|-----------------------------------------|-----------------------------------------|-------------------------------------|
| 1        | 生きがい・喜びの醸成                 | 生きがいを感じる                                                      | 32.7%         | 51.7%                                   | 24.7%                                   | 21.7%                               |
|          |                            | 日常生活に充実感がある                                                   | 37.8%         | 54.0%                                   | 32.3%                                   | 27.0%                               |
| 2        | シビックプライド<br>(地域への愛着・誇り)の形成 | 現在の居住地に愛着や誇りを感じる                                              | 43.5%         | 63.4%                                   | 36.6%                                   | 30.7%                               |
|          |                            | 現在の居住地にずっと住み続けたい                                              | 45.0%         | 62.4%                                   | 41.3%                                   | 31.4%                               |
| 3        | ソーシャルキャピタル<br>(社会関係資本)※の形成 | 現在の居住地との一体感を感じる                                               | 27.8%         | 45.0%                                   | 20.4%                                   | 18.0%                               |
|          |                            | 学校・職場以外でひと付き合いがある                                             | 26.8%         | 42.3%                                   | 18.4%                                   | 19.7%                               |
|          |                            | 他者への信頼<br>（「ほとんどの人は信頼できる」と「ほとんどの方は信頼できる」と「注意に越したことはない」の中間）の合計 | 50.6%         | 64.0%                                   | 46.7%                                   | 41.0%                               |
| 4        | 心身の健康・幸福                   | 幸福度(10点満点)                                                    | 6.1点          | 6.6点                                    | 6.1点                                    | 5.6点                                |

※ソーシャルキャピタル(社会関係資本)とは、人と社会への信頼感や信頼感を有した人間関係、組織や地域の一体感などを意味します。

勤務地別

| アンケート項目<br>※数値は「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計 | 勤務地が東京都                       |                               | 勤務地も千葉県                       |
|-------------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
|                                     | 県内プロスポーツチーム<br>のファンである(n=111) | 県内プロスポーツチーム<br>のファンでない(n=106) | 県内プロスポーツチーム<br>のファンである(n=186) |
| 現在の居住地に愛着や誇りを感じる                    | 71.2%                         | 34.9%                         | 65.6%                         |
| 現在の居住地にずっと住み続けたい                    | 66.6%                         | 38.6%                         | 62.9%                         |

を感じる」「現在の居住地にずっと住み続けたい」「あてはまる」と回答しています(図表8下段)。この割合は、ファンではない人の3〜4割を大きく上回っているほか、千葉県に在住・在勤するファンをも幾分上回っています。この点は、県内プロスポーツチームの存在とそれへの関心が、千葉県に在住し東京都勤務している人々の千葉県民としてのアイデンティティの一部を形成しているといえます。

本稿では、「観る」スポーツの代表である県内プロスポーツチームが、地域経済、社会にもたらしている効果や、まちづくりへの貢献について議論・分析してきました。

その結果、各自治体は、地域のプロスポーツチームとの連携が、地域に経済的・社会的効果をもたらし、地域の活性化につながっていると評価していました。また、県民の意識として、ホームタウンでは地元のチームを応援する傾向が強く、プロスポーツに関心がある人は、関心のない人に比べ、「観る」スポーツへの支出が大きく上回り、さらにプロスポーツチームのファンは、応援するチームの存続に約1万円を寄付してもよいと答えていました。加えて、チームの存在が、人々の生きがい、地域への愛着・信頼感を高め、心身の健康や幸福度合いにプラスの作用を及ぼし

## 6. 結びに

これらの結果から、各自治体が地域のプロスポーツチームと積極的に連携することには一定の意義があると言えます。ヒアリング調査とアンケート調査から、これらの取り組みは地域社会や住民にプラスの効果をもたらすことが見込まれることから、積極的な推進が望まれます。

また、今回の調査結果を通じて、スポーツを「観る」「する」「支える」機会を積極的に設けることが、住民に経済・社会的効果をもたらすだけではなく、住民の健康増進や転出の回避などを通じて、自治体の財政にプラスの影響を及ぼす可能性が考えられます。自治体は、「観る」「する」「支える」スポーツの機会を増やすため、ハード・ソフトの両面を整備することが望まれます。

今後、県内のプロスポーツチームとホームタウンがともに発展していくことで、地域全体の賑わいや、県民一人一人の健康や幸福感、地域への愛着の醸成が実現していくことを期待します。

※本調査レポートの詳細については、(株)ちばぎん総合研究所のホームページに掲載しております。ご興味がある方は、ご覧ください。

図表 6 「観る」、「する」スポーツの年間消費額 (対象群別)

| 対象者の区分                   | 件数  | お金をかけている人の割合(%) | 「観る」スポーツの年間消費額 |        | お金をかけている人の割合(%) | 「する」スポーツの年間消費額 |        |
|--------------------------|-----|-----------------|----------------|--------|-----------------|----------------|--------|
|                          |     |                 | 平均値(円)         | 中央値(円) |                 | 平均値(円)         | 中央値(円) |
| 全体                       | 900 | 38.2%           | 11,286         | 0      | 36.5%           | 13,253         | 0      |
| 【対象群1】<br>プロスポーツ拠点あり・高関与 | 300 | 78.0%           | 27,300         | 12,500 | 65.0%           | 22,050         | 7,500  |
| 【対象群2】<br>プロスポーツ拠点あり・低関与 | 300 | 15.7%           | 2,008          | 0      | 21.3%           | 9,183          | 0      |
| 【対象群3】<br>プロスポーツ拠点なし     | 300 | 21.0%           | 4,550          | 0      | 23.3%           | 8,525          | 0      |

で現地での観戦経験がある対象群1は、平均値で2万7300円支出しており、拠点があり、低関与である対象群2(2008円)と拠点がない対象群3(4550円)を大きく上回っています。

併せて、「する」スポーツの年間消費額(スポーツ用品の購入費、スポーツクラブの会費など)をみると、「観る」スポーツと同様、約半数がお金をかけていない(0円)と回答しています。

対象群別にみると、プロスポーツへの関心が高い対象群1の支出額は、平均値で2万2050円と対象群2(9183円)と対象群3(8525円)と対象群

図表 7 「県内プロスポーツチーム全体」、「応援しているプロスポーツチーム」の存在価値 (対象群別)

| 対象者の区分                   | 件数  | 県内プロスポーツチーム全体への最大寄付金額 |        |        | 件数  | 応援しているプロスポーツチームへの最大寄付金額 |        |        |
|--------------------------|-----|-----------------------|--------|--------|-----|-------------------------|--------|--------|
|                          |     | 寄付する人の割合(%)           | 平均値(円) | 中央値(円) |     | 寄付する人の割合(%)             | 平均値(円) | 中央値(円) |
| 全体                       | 900 | 51.3%                 | 3,554  | 500    | 372 | 85.5%                   | 9,659  | 5,000  |
| 【対象群1】<br>プロスポーツ拠点あり・高関与 | 300 | 82.0%                 | 7,930  | 3,000  | 255 | 86.7%                   | 10,747 | 5,000  |
| 【対象群2】<br>プロスポーツ拠点あり・低関与 | 300 | 34.0%                 | 942    | 0      | 53  | 79.2%                   | 5,198  | 1,000  |
| 【対象群3】<br>プロスポーツ拠点なし     | 300 | 38.0%                 | 1,790  | 0      | 64  | 85.9%                   | 9,016  | 3,000  |

県民全体でみると、寄付する／したくない人が半々となっており、前述したプロスポーツへの関心の有無が大きく分かれていることと整合的です(図表7)。全体で見ると、寄付金額(存在価値)の平均値は3554円、中央値は500円となっていま

性があります。

## (2) 県内プロスポーツチームの存在価値

次に、県民が県内にプロスポーツチームがあることにどの程度の価値を見出しているかの計測を試みます。具体的には、県内からプロ

また、応援しているプロスポーツチームがある人(以下、ファン)には、「最も応援しているプロスポーツチーム」について前述した仮想的な状況を想定し、金銭的な寄付を行うかも質問しました。

その結果、ファンの85.5%が寄付する意向を示しています。また、平均値が9659円、中央値が5000円と、高額であるのが特徴です。前述した県内のある(自身が応援しているとは限らない)プロスポーツチームを想定した時の結果を大きく上回っており、ファンにとって応援するプロスポーツチームの存在価値が大きいことを示しています。

## 5-3. 県民からみたプロスポーツチームの社会的効果

県内プロスポーツチームの社会的効果を測るため、県民に、現在の生活感情や他者との関わり方について尋ねました。各項目の数値をみると、対象群1は、対象群2、3と比べて顕著に高くなっています(図表8上段)。これは、プロスポーツチームの存在とそれへの関心が、様々な社会的効果——生きがい・喜びの醸成、シビックプライドやソーシャルキャピタルの形成、心身の健康・幸福——をもたらしていることを示唆しています。

また、図表8の「2. シビックプライドの形成」について、興味深い結果も得られました。ファンのうち、千葉県在住・東京都勤務者の6〜7割が「現在の居住地に愛着や誇り

## 市町村職員の紹介

千葉県に派遣されている市町村職員をご紹介します。

市町村課 伊藤 侑里子（銚子市派遣）



日本「早い初目の出、日本有数の水揚げ量を誇る漁港、生産量日本一の春ギヤベツ、参観者数日本一の犬吠埼灯台など、多くの地域資源に恵まれたまち、銚子市から派遣され半年が経ちました。

派遣先である市町村課は選挙班、行政班、税政班、理財班、財政班、自治振興室に分かれています。

選挙班は各種選挙事務、行政班は市町村の人事・給与に関すること、税政班は市町村の税政運営の助言等に関すること、理財班は市町村の起債に関すること、財政班は市町村の財政運営の助言等に関すること、自治振興室は市町村の振興に関すること、等の業務を市町村の職員と連携を取りながら行っています。

残り半年の限られた期間ですが、業務はもちろん、県職員や研修生との交流も大切に、マイペースに頑張りたいと思います。

消防課 村田 俊光（夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部派遣）



勝浦市、いすみ市、大多喜町、御宿町から構成される夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部から消防課に派遣されています。

消防課は消防指導室、予防・石油コンビナート班に分かれています。

消防指導室では、消防職団員に関することや消防関係補助金に関すること、また、消防関係者の叙勲及び表彰に関する事務を行っています。

予防・石油コンビナート班は、石油コンビナート等防災本部の運営や防災アセスメント調査に関すること、住宅防火対策、危険物及び消防設備に関すること等を行っています。

県庁での事務職としての経験は、現場とは違う角度から消防について考える貴重な経験になっています。この経験を夷隅消防に還元できるように一生懸命努めてまいります。

税務課 M（大網白里市派遣）

九十九里平野のほぼ中央、美しい九十九里浜、緑豊かな田園風景、可愛らしいマスコットキャラクターのマリンちゃんがいる大網白里市から派遣され、税務課でお世話になっています。

税務課は、特別滞納処分室、収税管理室、軽油引取税室、法人調査指導班、課税調査班、税務システム室、企画税制班、管理調整班に分かれています。

特別滞納処分室は個人住民税の滞納縮減等、収税管理室は県税の納税相談等、軽油引取税室は県税の犯則取締等、法人調査指導班は外形標準課税に係る調査、課税調査班は県税の課税や減免等、税務システム室は税システムの維持管理等、企画税制班は県税に係る総合企画等、管理調整班は課内の人事・組織等に関するを行っています。

毎日を大切に、この経験を大網白里市に還元できるよう努めてまいります。



大網白里市のキャラクター「マリン」

## 自治落書き

昭和百年に思うこと

今年は、昭和という時代が始まってから百年という節目の年である。また、同時に戦後八十年でもある。昭和五十九年に生を受けた私としても、人並みに感じるものがあるの、それを綴ってみようと思う。

昭和という時代は、西暦一九二六年に始まった。前年には、普通選挙法（男子にのみ普通選挙が実現）が成立し、立憲政友会と憲政会（のちに立憲民政党）との二大政党による憲政の常道が実現した時期に当たる。また、第一次世界大戦の結果として、非白人国として唯一、世界の五大国としての一角を占めた時期でもある。

一方で、昭和二年以降、金融恐慌に端を発した農山村の窮状に加え、山東出兵や満州事変といった対外進出等、時代の暗転を感じる出来事も発生。今年は戦後八十年、結果を知っている我々としては、その行き着く先が、日中戦争から昭和二十年まで長期にわたって続いた対外戦争であり、敗戦であったことは歴史の教訓とすべきであろう。また、敗戦後、GHQによる占領やそれに伴う体制の変更等、先人たちの血のにじむような苦労があつて、経済大国と言われるまでに戦後復興を果たし、現在の、まがりなりにも平和な我々の暮らしがあることには、功罪あるとは思わが感謝すべきだと思う。

大学院で日本史を学んだ身として、恥を忍んで昭和百年を概観してみると、歴史は繰り返していると感じる点がいくつもある。極東の小国から、日清・日露の戦争を経て五大国の一員となったものの、そこから対外戦争を経て敗戦国として一敗地にまみれる。そこから見事に戦後復興し、世界第二位の経済大国に登り詰める。しかし、平成の世となり、バブル崩壊を経て現在まで続く長期不況となり、不景気による就職氷河期や、災害の多発など、時代の暗転を感じる出来事が発生。続く令和の世になると、ウクライナ戦争等、国際秩序が揺らぐとともに、国内でも「日本人ファースト」等、外国人に対する視線も厳しくなる傾向にある（これは、外国人にも問題はあがある）。昭和初期から敗戦までの歴史と酷似していると考えるのは気のせいだろうか。もちろん、当時とは状況が違ふとは思ふものの、百年というスパンで過去を振り返ると、歴史は繰り返していると感じざるを得ない点がいくつもあるのも事実である。



「賢者は歴史に学び、愚者は経験に学ぶ」というドイツ宰相ビスマルクの言葉がある。「歴史に学ぶ」というのは、他者も含めた過去の経験に学ぶということを指しているらしい。何か問題が起こった際には、自分の経験だけで考えるのではなく、過去から蓄積され

た様々な知識を活用しない手はないということである。人が生きていくうえで、無風ということとはあまりなく、だれでも一度は困難な状況に直面することと思う。こんな時こそ、歴史に学びたいものである。

昭和百年を迎え、私の人生も四十年を過ぎてしまった。残念ながら、手塚治虫の漫画では、鉄腕アトムは昭和七十八年（西暦二〇〇三年）に誕生するはずが、今になって誕生していない。それでも、現在開催中の大阪・関西万博では空飛ぶ車が展示されているように、漫画とは歩みのスピードは異なるかもしれないが、人類は着実に進歩していると感じる点もある。昭和百五十年には、私はこの世にいないだろうが、私の子供はまだ生きていてと思う。人並みに幸せになつてほしいと思うし、戦乱などに巻き込まれずに平和に暮らしてほしいなと思う。人類は歴史から学べると信じているものだ。

昭和百年を迎え、この機会に昭和の歴史を振り返ることで、過去から学び未来に活かすきっかけとしたい。戦後八十回目の、ものすごく暑い夏に改めて思った次第である。

（立場のある人）

## 令和6年度ハロウィンジャンボ宝くじ市町村交付金活用事業一覧

| 団体名  | 事業名                     |
|------|-------------------------|
| 銚子市  | 放課後児童健全育成事業             |
| 市川市  | 文化会館管理運営事業              |
| 船橋市  | 市民文化ホール・市民文化創造館管理運営業務委託 |
| 館山市  | 学童クラブ運営事業               |
| 木更津市 | 生活路線バス維持対策費補助金          |
| 松戸市  | 民間回収資源化システム支援事業         |
| 野田市  | 老人福祉センター管理運営費           |
| 茂原市  | 子ども医療費助成事業              |
| 成田市  | 国際文化会館管理運営事業            |
| 佐倉市  | 図書資料購入事業                |
| 東金市  | 子ども医療費扶助事業              |
| 旭市   | 乳幼児紙おむつ給付事業             |
| 習志野市 | 保育所運営費                  |
| 柏市   | 防災施設及び防災資機材の管理事業        |
| 勝浦市  | 芸術文化交流センター管理運営経費        |
| 市原市  | 放課後児童健全育成事業             |
| 流山市  | 文化会館施設管理事業              |
| 八千代市 | リサイクル推進事業               |
| 我孫子市 | 古利根沼浄化事業                |
| 鴨川市  | 図書館運営事業                 |
| 鎌ヶ谷市 | 学校図書館司書の配置              |
| 君津市  | 中央図書館資料購入事業             |
| 富津市  | 生涯学習バス設置事業              |
| 浦安市  | 文化会館指定管理料               |
| 四街道市 | 資料管理整備事業                |
| 袖ヶ浦市 | 子ども医療費助成事業              |
| 八街市  | 在宅老人援護対策費               |



| 団体名   | 事業名            |
|-------|----------------|
| 印西市   | 災害応急対策資機材整備事業  |
| 白井市   | 子ども医療費助成事業     |
| 富里市   | 企業誘致事業         |
| 南房総市  | 図書購入事業         |
| 匝瑳市   | 子ども医療費助成事業     |
| 香取市   | こども家庭センター運営事業  |
| 山武市   | 松尾図書館運営事業      |
| いすみ市  | 子ども医療費助成事業     |
| 大網白里市 | 図書室資料等購入費      |
| 酒々井町  | プリミエール運営事業     |
| 栄町    | ごみ減量化推進政策      |
| 神崎町   | 給食費助成事業        |
| 多古町   | 学校給食費助成事業      |
| 東庄町   | 給食費助成金事業       |
| 九十九里町 | 語学指導外国青年招致事業   |
| 芝山町   | 外国語指導助手派遣業務    |
| 横芝光町  | 英語講師配置事業       |
| 一宮町   | 東浪見小学校窓サッシ改修工事 |
| 睦沢町   | 道路維持事業         |
| 長生村   | 長生村文化会館の充実事業   |
| 白子町   | 保育所児童福祉施設事業    |
| 長柄町   | 子ども医療費助成事業     |
| 長南町   | 社会福祉協議会補助事業    |
| 大多喜町  | 公民館管理運営事業      |
| 御宿町   | 戸籍事務費          |
| 鋸南町   | 情報化推進事業        |



## 編集後記

今年の夏も全国各地で災害級の暑さとなり、皆様も過酷な夏を過ごされたことと思います。ハロウィンジャンボ宝くじの発売も始まり、ようやく暑さが和らぐことが期待されるこれからの時期は、県内のさまざまなスポットに足を運びたいと思う今日この頃です。

ちばぎん総合研究所の記事ではスポーツとまちづくりとの関わりについて取り上げました。県内では今年度も、千葉ロッテマリーンズ二軍の君津市への移転決定や、マリンスタージアムの建て替え、幕張海浜公園にアルテイリ千葉のホームアリーナとなる新アリーナの建設が決定するなど、様々なスポーツ関連のニュースがありました。スポーツによる更なる地域の活性化に期待が高まります。

今号では大阪・関西万博へも出展し、県を牽げPRしている「発酵」についての記事など、さまざまな情報を掲載しています。

なお、県内市町村のご当地情報については、本誌のほかに、千葉テレビで毎週金曜日に好評放送中の「市町村てくてく散歩」でも紹介しています。こちらも是非ご覧ください。

今回、ご寄稿等にご協力いただいた皆様、大変お忙しい中、本当にありがとうございました。次回の発行もお楽しみに！



## 市町村振興協会だより

## 事業の紹介

このページでは本誌の発行元である千葉県市町村振興協会の行っている事業のうち、宝くじ交付金の市町村への交付事業について紹介します。

## 市町村振興宝くじ交付金の市町村への交付事業

千葉県から交付されたサマージャンボ宝くじの収益金の一部及びハロウィンジャンボ宝くじ収益金の全額を、千葉市を除く県内53の市町村に対して交付しています。

この交付金は公共事業をはじめ高齢化・少子化対応、芸術・文化の振興、災害対策、地域経済の活性化、環境保全など総務省令(地方財政法第32条に規程する事業を定める省令)で定める事業に活用されています。

令和6年度は、サマージャンボ宝くじ交付金を総額5億円、ハロウィンジャンボ宝くじ交付金を総額5億7,371万円、県内市町村に交付し、次のような事業に活用されました。

## 【習志野市】保育所運営費



## 【柏市】防災施設及び防災資機材管理事業



## 【君津市】中央図書館資料購入事業



## 【鋸南町】菱川師宣記念館主催事業



なお、県内各市町村におけるハロウィンジャンボ宝くじ市町村交付金の主な活用事業の一覧は、左ページに掲載のとおりです。

ハロウィンジャンボ宝くじ 発売中！【2025年新市町村振興宝くじ】

### ハロウィンジャンボ

1等・前後賞合わせて5億円  
1等3億円、前後賞各1億円

パソコンやスマホでネット購入！



宝くじ公式サイト  
<https://www.takarakuji-official.jp/>

**9月19日(金)**  
**同時発売**

発売期間／9月19日(金)～10月19日(日)  
抽せん日／10月28日(火) 各1枚300円

### ハロウィンジャンボミニ

当せんチャンス広がる

1等・前後賞合わせて5,000万円  
1等3,000万円、前後賞各1,000万円

この宝くじの収益金は  
市町村の明るいまちづくりや  
環境対策、高齢化対策など  
地域住民の福祉向上のために  
に使われます。

2025年新市町村振興宝くじ

この宝くじの収益金は、県内売上等に応じて市町村に配分されます。  
ご購入は、ぜひ**“千葉県内”**の宝くじ売り場で！！

- 発売期間／9月19日(金)から10月19日(日)まで
- 抽せん日／10月28日(火) ■発売単価／1枚300円

| 等級      | ハロウィンジャンボ |             | ハロウィンジャンボミニ |            |
|---------|-----------|-------------|-------------|------------|
|         | 当せん金      | 本数          | 当せん金        | 本数         |
| 1等      | 3億円       | 12本         | 3,000万円     | 50本        |
| 1等の前後賞  | 1億円       | 24本         | 1,000万円     | 100本       |
| 1等の組違い賞 | 10万円      | 1,188本      | —           | —          |
| 2等      | 1億円       | 12本         | 100万円       | 50本        |
| 3等      | 100万円     | 120本        | 1万円         | 150,000本   |
| 4等      | 1万円       | 240,000本    | 3,000円      | 500,000本   |
| 5等      | 3,000円    | 1,200,000本  | 300円        | 5,000,000本 |
| 6等      | 300円      | 12,000,000本 | —           | —          |

※表中の当せん本数は、発売計画額(ハロウィンジャンボ発売総額360億円・12ユニット、ハロウィンジャンボミニ発売総額150億円・5ユニット)のとおりととなった場合



サーフィンクーちゃん

公益財団法人 千葉県市町村振興協会